

子どもたちのしあわせのために

11月は児童虐待防止月間です。
未来を担う子どもたちのために、児童虐待防止について考えてみませんか。

問 子育て健康課 ☎84-0327



子育てに悩みがある 保護者の皆さんへ

出産や子育てに不安や悩みはありませんか？一人で抱え込まず、自分の気持ちを話してください。

例えば…

- 子どもがかわいいと思えない
- 子どもが泣き止まない
- 子どもの成長が遅い気がする
- しつけがうまくいかない
- 子どもに手をあげてしまう

家族やパートナーに話しにくいときは、身近な幼稚園や保育園、学校の先生もお話を聞いてくれます。他にも皆さんの周りには多くの相談窓口があります。ぜひご利用ください。

新型コロナウイルスの影響が子どもたちに
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化する中、子どもへの痛ましい虐待事件が後を絶ちません。休校やテレワーク、さまざまな施設の利用制限、不要不急の外出制限により、家族だけで過ごす時間が増えました。朝から晩まで一日中子どもと向き合い、周囲にも頼ることができない状況から、ストレスが溜まり、苛立ちから虐待につながる懸念があります。

SOSのサイン
 子どもやその保護者は次のようなSOSのサインを出しています。気になることがあったら、ためらわずに相談窓口にお電話ください。

子どもからのサイン
 ・不自然な傷や打撲のあとがある
 ・衣類や体がいつも汚れている
 ・夜遅くまで一人で遊んでいる

保護者からのサイン
 ・子どものけがについて不自然な説明をする
 ・子どもの養育に関して拒否的・無関心である
 ・小さい子を家に置いたまま外出している

▶ 子育てのお悩み、何でもお聞きします！ 相談先はこちら

相談窓口	電話番号	メール相談
子育て健康課	☎ 84-0327	
子育て支援センター あじさいっこ	☎ 20-9720	
小田原児童相談所	☎ 32-8000(代)	

▶ 子育てが辛い・虐待かもしれない …と思ったらすぐ電話



全国共通
ダイヤル
3桁

※通話料は無料です。一部のIP電話はご利用になれません。



オリンピック / 聖火ランナーにお話を聞きたい！

スポーツの秋がやってきました！スポーツといえば、オリンピック聖火ランナーを務めたお二人が広報8月号で紹介されていました。聖火リレーの公道走行は中止でしたが、点火セレモニーが行われたそう。当日のエピソードが気になります…ということで、お二人にインタビューしてきました！

問 企画政策課 ☎84-0312



点火セレモニーを振り返っていかがですか？

コロナ禍で行われましたが、皆の想いが繋がれて、聖火台に希望の火として点火されたのだと思いました。聖火が消えるときは本当に寂しかったです。点火セレモニーに参加したことはもちろん感慨深いですが、それと同時に1年延期され、走ることができなかったことで生まれた、たくさんの人との気持ちの通ったやり取りがありました。

当日のエピソードを教えてください！

私の落とし物の申し出に「最大限に努力し、必ず見つけます」と言って、探し出してくださったボランティアの方々の気持ちと行動力に感動しました。



のじま りつこ
野島 良実さん
(中家村)

神奈川県聖火ランナー枠に応募し、選出。伊勢原市の大山参道を走行予定だった。開成町の好きなお店は、ウォーキング中にカフェに出会うなど、自然を身近に感じることができるところ。

点火セレモニーを振り返っていかがですか？

1年延期になった分、その時間で各地の聖火ランナーとSNSで繋がって、お互いに応援したり、励ましあったりすることができました。

当日のエピソードを教えてください！

聖火リレー関係の催しがほとんど中止となった北海道。そこで、神奈川県点火セレモニー当日、SNSで知り合った北海道の聖火ランナー2名が履かずだった靴を借りて、片方ずつ履かせてもらいました。想いを繋ぐことができて良かったと思います。



やながわ ひろき
柳川 寛樹さん
(上延沢)

自動車メーカーの聖火ランナー枠に応募し、選出。箱根開所から国道1号線を走行予定だった。開成町の好きなお店は、縦横のつながりがある、困ったときにすぐ相談できるなど人との結びつきが強いところ。



人生初！
聖火トーチを
持ちました！

お二人のユニフォーム姿や実物の聖火トーチを目の前にして、秋空の下、すぐにでも走り出したい気持ちになりました。

石塚 敦

編集後記

コロナ禍で開催された、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下大会)。直接ではなく、テレビや新聞などをとおして接した方が多かったのではないのでしょうか。

日々変化する社会情勢に、対応を迫られた大会だったと思いますが、聖火リレーのランナーをはじめ、ボランティアの方やアスリート、アスリートを応援する人たち、それぞれの想いが繋がり、未来へ引き継がれていく一瞬を、皆で創り出した大会だったと思います。